

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1064	同和教育研究推進事業	01	一般会計		
		10	教育費		
38	互いを認め合いすべての人の人権を尊重する	05	社会教育費		
		03	同和教育費		
	教育委員会 伊賀分室	102	同和教育研究推進事業		
	藤岡雅之	連絡先	45-9116	細々目	01
					同和教育研究推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	いがまち同和教育研究会及び伊賀支所地域市民	同和教育の充実. 人権教育の推進. 同和教育学習会、研修会を開催. 人権教育リーダーの養成が図られる			
<p>人権啓発活動を展開するため、研究会組織及び人権関係団体への支援を行う。 各地域、事業所、団体等を会員とする「いがまち同和教育研究会」への補助(講演会、研究大会、会報の発行等) 対外的人権同和教育研究大会への参加支援. 小中学生を対象とした交流研修会参加の自動車借上げ支援</p>					
開始年度	平成 41 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市教育委員会関係補助金交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,673	1,618	1,618
委託料			
補助	1,335	1,268	1,268
その他	338	350	350
合計(A+B)	5,273	5,218	5,218
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,273	5,218	5,218
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
補助団体	団体	3	2	2			
大会参加負担	件	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
補助団体等大会、研究大会参加者数	参加人数 (事業実績による参加者数を指数)	人	1100 目標 (###)	1200	1200
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>人権意識を高めるための交流事業や同和人権活動におけるリーダーの育成をはじめ、差別解消に向けての取り組みは今後も継続していく必要がある。住民に広く周知されている「いがまち同研」は、活動に対しては地域市民の積極的な協力が見られ理解も深い。</p>
--

評価	必要性	4	事業内容の性格から、達成には限界が無く、継続することが必要	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		